

同窓会長 大沼恵美子

谷地高校創立99周年おめでとうございます。一言で99周年とありますが、この間、様々なことに会いまた問題を解決し今日に至っており、まだまだ元気で健在の谷地高校です。

谷地高校の前身は、谷地南部小学校の南側にあった建物の二教室をお借りし、職員9名・生徒123名で大正10（1921）年4月に開校された西村山郡立実科高等女学校です。そして大正12年に現在の場所に本校舎が完成し移転しています。谷地南部小学校前で開校式を前に袴姿で記念写真を撮っているあどけない生徒が印象的です。当時谷地町に高等女学校を作りたいという話が持ち上がり、西村山地域の人々の強い要望と多くの援助で作られました。その後も地域の人々に支えられ、地域に貢献する人材をそだてて来たのです。地域との結びつきの強い学校だということです。その結果、文部省が認可し西村山郡立実科高等女学校が誕生しました。その後郡立から県立へ、名称も学制改革により昭和23（1948）年山形県立谷地高等学校と校名を変更し現在に至っています。

この99年間には学校の規模・形態が変わっていったのはごく当たり前のことですが、それぞれの時代に合った教育がなされていたのは確実です。

私が谷地高校に入学したのは昭和38（1963）年です。私たちはいわゆる団塊の世代で人数が多く常に競争の世界でした。教室や特別教室なども足りず窮屈な思いをしながらの高校生活。しかし、授業や学習に関しては先生達も時間を惜しまず丁寧に指導をしてくださいました。部活動は卓球部に所属し卓球の練習に明け暮れた三年と言っても過言では有りません。当時、校長先生は校長官舎にお住まいで、夜間練習をしていると校長先生が体育館にやってきて激励してくださいました。目標を持って過ごした三年間はあつという間に過ぎていきましたが思い出に残る高校生活になりました。

高校三年間という時間の遅い早いは、受け止める人によって違いがあると思います

私たちのように目標を定め、邁進してきた者にとってはとても短く感じられる三年間になったように思います。

昨年度から一学級減になり、現在1・2学年が2クラスになりました。来年、全学年で6クラスになります。小規模の学校になりますが、一人ひとり目標を掲げそれに向かい全力を出し、実りある高校三年間にしてくれることを期待しています。

来年は、創立百周年記念の年です。建学の精神に思いを馳せ、一世紀の長きにわたる伝統を振り返り、その継承と発展を願い行動を起こしたいと考えます。今年は、全世界が「新型コロナウイルス」の渦中にあり、今後どのようになるのか懸念されますが、一日も早く終息するよう、一人ひとりができることを実行してください。

結びに、来年の創立百周年記念式典は同窓生、谷地高生、教職員のみなさんとともに挙行できることを願うとともに、今後の谷地高等学校のますますのご発展を祈念し、挨拶とします。

## 谷地高校のあゆみ

年	月	できごと
1904 (明治 37) 年	4	西村山郡谷地町立女子裁縫専修所が谷地南部小学校内に開設。
1907 (明治 40) 年	6	西村山郡谷地町立女子実業補習学校に改称。
1921 (大正 10) 年	4	<b>西村山郡立実科高等女学校として開校 (谷地高校の前身)</b> 実科高等女学校は家政学を中心に学ぶ学校 5月12日に開校式を挙行 (創立記念日)。
1925 (大正 14) 年	4	<b>山形県立谷地高等女学校と改称</b>
1945 (昭和 20) 年	8	第二次世界大戦終結
1948 (昭和 23) 年	4	<b>山形県立谷地高等学校の発足</b> 通常課程 (全日制) 450名 (1学年150名) 普通科と家庭科とされます。 定時制課程 300名 (本校、西里分校、溝延分校)
1952 (昭和 27) 年	3	同校 西里分校廃止
1956 (昭和 31) 年	3	同校 生徒会誌第一号発刊
1958 (昭和 33) 年		同校 科学部 第二回日本学生科学賞 最優秀賞
1959 (昭和 34) 年	3	同校 溝延分校廃止
1961 (昭和 36) 年	2	同校 新体育館竣工 落成式
1962 (昭和 37) 年	4	同校 商業科を新設 普通科 150名・商業科 50名・家庭科 50名・計 250名
1963 (昭和 38) 年	3	同校 軟式野球県大会優勝・剣道部県大会 2 連覇
1965 (昭和 40) 年	3	同校 定時制廃止/卓球部 県高校総体完全優勝
1966 (昭和 41) 年	5	同校 商業科 県高校タイプライティング競技会団体・個人優勝
1970 (昭和 45) 年	4	同校 家庭科募集停止
1971 (昭和 46) 年	9	同校 新校舎落成式を挙行/創立 50 周年記念誌発行 世界卓球選手権で同窓生大場恵美子・小和田敏子 優勝
1976 (昭和 51) 年	9	同校 第3棟落成式
1980 (昭和 55) 年		同校 県少年弁論大会優勝
1981 (昭和 56) 年	10	同校 創立 60 周年記念誌発行
1986 (昭和 61) 年	9	同校 カヌー部 東北カヌー選手権 完全優勝
1989 (平成 1) 年	3	同校 弓道場新築竣工
1990 (平成 2) 年	2	同校 カヌー部 屋内練習場落成式
1991 (平成 3) 年	6 9 10	同校 谷地高会館前緑化/新夏季制服導入/カヌー部国体上位入賞・木村文浩教諭優勝・女子全国選抜総合優勝 創立 70 周年式典挙行、創立記念音楽会、記念誌発行
1992 (平成 4) 年	2 9 10	同校 カヌー部「山新3P 賞受賞」 本県「べにばな国体」開催 カヌー部 4 種目制覇、成年の部で木村文浩教諭優勝、卓球成年で三上雅也教諭 5 位、成年女子大沼恵美子教諭 3 位入賞

1994（平成 6）年	4	同校 校舎大規模改造工事竣工/新入生新制服導入
1996（平成 8）年	9	同校 カヌー部国体 3 種目優勝/卓球部・柔道部・シンクロナイズドスイミング全国大会出場/商業科 全国簿記出場
1997（平成 9）年	8	同校 カヌー部 全国大会優勝、文部大臣賞受賞、国体女子優勝
1998（平成10）年	8 12	同校 カヌー部女子 全国大会総合優勝、国体女子 K4 優勝 卓球部 全国大会出場 吹奏楽部 全国マーチング部門出場
2001（平成13）年	10	同校 谷地高資料館新設/創立 80 周年記念式典挙行、通学路及び校内環境整備を記念事業として竣工 カヌー部 全国大会男子 500m、1000mK2 優勝
2002（平成14）年	3 5 6	同校 卓球部 全国大会出場 カヌー部 アジアジュニア 500mK4 優勝・K2 2 位 商業科 全国簿記コンクール出場
2003（平成15）年	3 8	同校 卓球部 全国選抜大会出場 カヌー部 全国大会男女総合 2 位 男子 2 種目優勝
2004（平成16）年	5 6 8 9	同校 カヌー部 旧職員竹屋選手オリンピック最終予選優勝 国際ジュニア大会女子 4K3 位 卓球部 全国大会出場 アテネオリンピック 白田美由紀（H14 卒） 竹屋美紀子（旧職員）9 位 カヌー部 国体少年女子 500mK2 優勝
2006（平成18）年	3 8	同校 新体育館建設工事着工/総合学習「遠嶺」タイム開始 弓道部 団体・個人 全国大会出場/水泳部 背泳ぎ出場 カヌー部 全国大会 500m女子 K4、200K4 男子 200mC2 優勝
2007（平成19）年	2	同校 スローガン「やるぞ！ちからのかぎり」 マスコット「やーくん・ちーちゃん」が決定 新体育館落成記念式典・講演会「講師 古賀稔彦氏」
2008（平成20）年	3	同校 商業科廃止
2009（平成21）年	3 7 10 12	同校 弓道部 全国選抜大会個人出場 弓道部 女子団体全国大会出場 カヌー部 世界スプリントジュニア 女子 500m6 位 国体少年男子 500m・200mK4 優勝 同 少年女子 500mK2 優勝 創立 90 周年記念事業実行委員会設立総会
2011（平成23）年	10	同校 創立 90 周年記念式典挙行・記念誌発行